

令和6年度 長野市立松代公民館運営審議会 開催概要

- 日 時 令和6年6月28日(金) 午後2時から3時45分まで
- 場 所 松代公民館 1階 講義室1
- 出席者 審議会委員 8名(9名中8名出席、事務局から成立報告)
公民館職員 2名(館長・係長)
傍聴者 なし

次 第

- 1 開会
- 2 松代公民館長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議事(諮問)
 - (1)令和5年度松代公民館事業実施状況について
 - (2)令和6年度松代公民館運営方針(案)について
 - (3)令和6年度松代公民館事業計画(案)について
 - (4)その他
- 5 懇談・要望・意見等
- 6 閉会

概 要

令和5年度松代公民館事業実施状況について(説明:事務局)

発言者	内 容
委員	成人式の記念写真の撮り方についてであるが、今の若者は分館長と接点がない。それより、当時の担当の教師と撮ったらどうか。その方が親しみやすく、印象が深いのではないのか。
委員	今は、どのような撮り方をしているのか？
事務局	人数が多いので分館ごと3回に分けて撮っている。新成人以外では本館の公民館長とその写真を撮る分館の分館長と一緒に写真を撮る。 担当の先生が来られない場合もある。松代中学校ではなく、私立中学校や他地区の中学校に通学する生徒が増えており、このような現象が他の地区でも起きている。また、他地区からの転入者もいる。

	様々な課題はあると思うが、公民館が主催なので、記念写真は公民館長と分館長としている。
委員	地域単位で撮っているのか
事務局	地域単位で撮っている。松代は7地区あるが、3回が均等になるよう調整している。
委員	成人式の写真はどのように配布するのか。
事務局	写真は有料で希望者に送付する。また、撮った方はほぼ全員購入している。
会長	写真については、恩師と撮ったらどうかという意見がありましたが、事務局からの説明があったとおり、主催が公民館なので、公民館長と分館長ということです。 では、他にご意見等ございますか。
委員	講座の実施状況を見ると、男性の方の参加が少ないと思った。公民館事業といえば、区長や副区長など地域の役員は、ほとんどが男性ですが、講座などの受講者の結果を見ると女性の方が多い。 郷土史科は人気があって男性も多いが、他の講座は少ない。男性の参加をどのように募るかが課題になると思う。
委員	何か対応策を考えなければいけない。
事務局	興味を示す講座がいいのですが、どちらかというと女性が積極的である。年齢層が高く、60代での参加は少なく、70代が中心である。 公民館としては、家に閉じこもらず外に出れば何らかの刺激はあるかもしれない。その中で自分の趣味として、公民館の講座など選んでももらえればとても良いと思う。
委員	松代ふるさと健康ウォークは良い機会だと思う。
事務局	スポーツ祭なども充実させながら、なるべく男性の参加も含めて、子どもが参加できる環境をつくれば、そこに大人もついてくる形になればよいと思う。
委員	講座の内容について、新しいものに変えることが少ない、自分が活動して来ている中であまり変化がないが、どんな講座をやるか、誰が考えているのか？
事務局	家庭・地域学びの課から、決まっている課題がいくつかある。その中で重点的にやらなければならない講座があるが、それ以外の講座の具体的な内容は公民館で決めている。
委員	個々の公民館によって違うのか。
事務局	それぞれの公民館が独自に決めている。新しいものといえば、去年はスマホ教室を実施し、情報弱者に対するその知識を学んでもらった。
委員	変化があった方が、参加者も多くなると思う。

事務局	少しずつ変えられるところや新しいものを取り入れていければ良いと思う。 ただ、長く受講する人も多くいる。松代の講座は比較的長期間に渡り実施している講座が多く、興味を持っている人も多い。そういう講座はなくせないの、様子をみながら検討していく。連続する講座の場合、出席できない回もあることは承知している。 こんな講座がいいという要望があれば伺いたい。
事務局	松代は1つの講座で何回か実施する講座が多く、内容はさまざまな分野を取り入れている。他の公民館は、その1回を単発で開催しているという状況であり、回数的には同じと思う。新しいものを考えるには、単発で少しずつ加えていくことになる。
委員	1回の単発講座の方が、その日都合があえば行こうかなと参加しやすい。何回シリーズなると都合があわない日があったりするので、全回参加できないことになり参加しにくい。
委員	古城里山めぐりはとても長く、興味があって参加しているので、それはそれで長くてもいいと思う。しかし、1回の単発講座もあると、参加しやすい。 しかも、年金生活者にとっては、近くて、カルチャーセンターのような費用がかからないことから公民館の講座は総合的に見て参加しやすい。
委員	スマホ教室について、5ページの令和5年度の実施状況を見ると、5つの内容が各3回シリーズで14回ということか。
事務局	1日2回で7日間、全14回の枠で、資料ご覧の5つの内容で開催する。
委員	参加者は、基本操作を学ぶ内容から順番に参加するの？
事務局	参加者は受けたい講座を選ぶことができる。同じ方が、5つの内容の講座をすべて受講することも可能である。
委員	それぞれの過程が理解できる。
委員	5ページの令和5年度実施状況の学級講座の表をみていると、次世代育成が極端に少ないが、この講座に参加している人たちがこのような講座を望んでいるのか、いないのか
委員	未就学児を対象とした講座ということか。
事務局	毎年参加者が少ない状況ではある。未就学児が少ないのか、母親同士が知り合いで、他地区の子育て支援講座に流れてしまうのか、具体的な理由は不明である。他の子育て支援と講座実施日の水曜日が重複していたため令和6年度から、水曜日から木曜日と金曜日に変更したが、参加者は横ばいである
事務局	最近の傾向であるが、保育園の無料化に伴い、保育園に預ける家庭も増えている。ニーズは減っている傾向にある。

	ただ、この子育て支援は市の重点事業なので、内容を工夫しながら維持していく。回数は、月1回ペースで、季節のイベントや比較的興味ある英語を使った内容など取り入れている。
委員	現在の20代、30代のお父さん、お母さんは何を望んでいるのか考えていく必要があるのではないか。何をしてほしいのか、どんな講座をやってほしいのかどこかでアンケートのようものをしてもらいたいのではないか。
事務局	ぞうさん広場の参加者にはアンケートをとっている。
委員	参加者の人数は少ないが、長野市の重点施策である。多様な場所、多様な考え方いろいろあると思うが、来る方はきっと楽しんでいると思う。むしろ来てくれる方を大事に考えてやっていけばいいと思う。
委員	松代は図書館がないので、読み聞かせとか、子どものころから物語に触れるのはすごく大事だと思う。読み聞かせは続けてやってほしい。
委員	海津大学園郷土史料とはどのくらい続いてやっているのか？この講座は男性が多く参加している。
事務局	10年以上は続いている。
委員	これだけの方が参加して地元の歴史を学ぶ講座があることは別の意味でお友達を増やしたり、ちょっと外に出かけたりと、地元につながりができるので、とても良い機会になる。
事務局	郷土史料は、近くに真田宝物館もあり、講師に恵まれていることから、関心を持っている人も多い。
委員	実施状況報告書をみると、男性、女性の表示がある。これは今の時代に良いのか。
事務局	文科省に報告する統計であり、男女別も求められている。ただ本人が男女の記入をしたくない場合は、未記入でもかまわない。 運営審議会の資料として、男女の記載は必要ないということであれば、男女の記載は削除して、合計の数字のみにすることもできる。
委員	利用率などは見たいので、この資料は男女記載があってもよい。
委員	この利用率は、分母と分子は何か？
事務局	利用者数と開設日数である。

令和6年度松代公民館運営方針(案)について(説明:事務局)

令和6年度松代公民館事業計画(案)について (説明:事務局)

発 言	内 容
委員	年4回の分館長分館主事会議はどんな話をしているのか。
事務局	分館における活動報告などの情報共有や公民館主催事業の内容についてである。
委員	(松代公民館運営方針)(5)分館活動を支援し、活気ある地域づくりを図るとあるが、東条分館はまったく活動していない。逆に衰退しているように思える。
委員	利用率を見れば、東条分館はだいぶ活用している。
委員	これはサークル活動である。公民館の活動をみればだいぶ衰退している。東条は、まったくやらなくなった。100人以上も集まった運動会をやめて、30人くらいのボウリング大会に代わった。そして文化祭で終わりである。こういうことをやっていると、逆行してしまう。これで、(5)のような活気ある地域づくりができるのだろうか。
事務局	コロナという状況を挟んで、健康面も考えて、混雑する場所への外出が減ってきた。試行錯誤し、やり方を変えて工夫をこらして何かやろうとしているが、コロナ前の状態には戻れない。地域の状況にあわせて、継続できるものを考えていくことではないか。
委員	年4回の分館長分館主事会議で、時間をかけて検討していかなければならないのではないか。
事務局	そうですね。ただ時代の流れの中で公民館の担い手がいなくなっている。やろうという発想、それを実際に動かす人たちが集まってくれるか、集まっても無理にやって、1年で役員交代となれば、次の年に続かないこともある。地区の状況にあった継続できることを考えていくのが良いかと思う。
委員	他の分館ではどんなことをやっているのかわからない。4回の分館長分館主事会議のなかで、どんな工夫したとか、こんなアイデアで何人集まったとか話し合ってほしい。 西条は7地区あって、それぞれのところでは、はつらつ体操とか、ゆったりしている。他の地区ではなにをしているかわからない。地区内でアンケートとっていたが、コロナになってから出たがらなくなった。どんどんしぼんでいく一方で、活気がなくなった。家にいる高齢者は、公民館に行き、話をしたいという気持ちはあるが、若い人たちは、おみこしも嫌だ、いろいろなことはめんどくさい、育成会も子どもも少ないなど、だんだんしぼんできて寂しい限りである。

委員	なんとか公民館が活性化できるように話し合いをもっとしてほしい。
事務局	松代地区の公民館の現状は、本館、分館、分室があり、これは長野市の管轄である。それとは別に地域が管理、運営する地域公民館がある。 以前は、地公連という地域公民館連絡協議会という組織があったが、平成25年に解散したことから本館では地域公民館について把握していない。地域公民館はその地域の分館と同一地域内にあることから関係はある。 なお、地域公民館の改修、修繕の補助金申請の受付は行っている。
会長	運営方針(5)については、年4回の分館長分館主事で触れていただくように願います。
委員	令和5年度の環境学習にガーデニングがあったが、6年度にはなくなっている。ガーデニングはサークル活動に移ったということか？
事務局	令和5年度にあったガーデニングとフォークダンスについて、ガーデニングは、講師から来年度は出来ないと申し出があった。フォークダンスは、かつて12回、10回と講座があったが、数年前から市の方針で最大5回までになり、講座は7月までに終了する。その後は、自主的にほぼ同じメンバーで年間を通して活動をしている。そこで講師を含めて話し合いをし、令和6年度からは、公民館講座から離れて、サークルとして独立してもらった。 講座は減ったが、講座の中からリーダーが育ち、自主的なサークルができるようになった。
委員	サークルが増えることにより、松代公民館文化祭の発表にもつながっていくということですね。
事務局	自分たちの成果とともに、文化祭も盛り上げてほしいと思っている。
委員	運営方針が6まであるが、教育的に考えて(3)は小中学生にも非常につながるところだと思う。学習意欲を支援し、交流のよりどころ、これが重点目標の(3)人と人を結びつけるということにつながってくる。 今の教育はどちらかというと答えのあるものに向かっていくのではなく、答えはわからないけどみんなで協力していろんな知恵を出し合ってやりましょうという進め方をしている。 気持ちを起こさせるのが大事で、9ページ、10ページのように令和6年度の事業計画において、これやりたい、あれやりたい、やる気を起こさせる、自分は太極拳やってみたいと思ったりする。そのやる気をおこさせるのが、文化祭、みんなで作り上げたものを展示したり発表したりという場になって、それがサイクルになって毎年毎年こう巡っていくという良い形になっているのではないかな。

委員	大門踊りとかは、中学校でもやってもらっている。学校活動にもつながってとても参考になる。
事務局	文化祭もそうですが、公民館を利用している団体が伝統行事もあるが、公民館でも、このような発表の場を設けて、広く周知できる機会ができることは良いと思う。
委員	生け花も良い。今は、花を生けることが少ない中で、世代間交流にもなっている。
委員	中学校と公民館のつながりは大きい。
委員	中学校でも、17講座を開いて、松代の中のいろいろを見学したり体験したりする時間がある。人とのつながりができれば面白いと思う。 それを発展させて、子どもたちが自宅の近くで、地域で活動している場に行って一緒に活動するとか良いと思う。そこでつなぎ役になっていけば面白いと思う。
委員	松代文化芸術祭が松代文化ホールであったが、公民館とタイアップを考えることはあるのか。
事務局	文化芸術祭は、伝統芸能継承が目的である、一方公民館は、人とのつながりや、自分のために何かを学ぶ場所であることから、方向性が違う。
委員	松代地区住民自治協議会との協議はしているのか。
事務局	住自協とは協議をしていない。 協力して何かをやるのではなく、成人式やスポーツ祭で補助金をもらっている程度である。共催で何かをやるということはない。
委員	公民館活動は、比較的高齢者が多いが、役員に若い人はほとんどいない。集まってくれと言っても集まらない。積極的に動こうとしない、10年ひと昔、高齢者との世代間での考え方が違う。 今の若い人は、まず家族のことを考え、周りの友人増やしそれが幸せだと思っている。地域のことは二の次、そして定年を迎えて、周りを見直したとき、自分の居場所を見つけようとして、公民館に行くようになる。 趣味がベースとなり活動が始まり、それが公民館活動に繋がっていく。地域の老人会も、入会しない高齢者が増え、老人会も消滅した。もっと世代間交流をしてお互いの考え方を話し合いができればよいと思う。
委員	冬のスポーツイベントはなくなったのか。
事務局	コロナになってから、冬であることと、限られた空間の中であるということで、人が集まらなくなってきた。最後は募集しても1組しかなかった。スポーツ推進委員会で検討し、秋のスポーツ祭を拡大して、冬は取りやめとした。

その他について （説明：事務局）

事務局	松代地区成人式をいう名称について検討いただきたい。 （資料説明） 長野市としては、引き続き20歳を対象に式典を開催していく。 式典名は各館に委ねられているが、松代はどのようにしたらよいか。18歳の保護者から問い合わせがある。
委員	問い合わせがあるのであれば、成人という言葉がなくとも良いと思う。二十歳を祝う会とか、18歳を迎えた子もまだ行かなくていいんだと、すぐわかる。
委員	18歳か20歳かという電話があっても大変だから、20歳を入れて、成人を省いてどうですか。
会長	この場で名称を、一つの案としてまとめてきたい。 二十歳を祝う会として意見をいただきました。いかがですか。
委員	令和何年度をつけて、二十歳を祝う会で良いと思います。（全員一致）
会長	「令和何年度 松代地区二十歳を祝う会」の名称とします。
会長	ありがとうございます。 以上で本日の議題が終了しました。答申に移ります。 令和5年度松代公民館事業実施状況、令和6年度松代公民館運営方針、令和6年度松代公民館事業計画、松代地区二十歳を祝う会、これらの内容で進めていきたいと思います。 賛成の方挙手をお願いします。 全員賛成
会長	■答申内容について 議長(会長)から原案どおりでよろしいか委員へ諮る。 全員一致で原案を承認
答申	議長(会長)から館長へ「原案どおりで差し支えない」旨、答申

5 懇談・要望・意見等(説明：事務局)

発 言	内 容
会長	懇談等は、議事に含めて進行した。それ以外で何かありますか。
委員	トイレのことで要望したい。 洋式が奥に一つしかなく、そして暗いし怖く感じる。そこで、洋式に変え、併せて、照明をもっと明るくしてほしい。できれば自動センサーの照明が良い。

	公民館建て替えの話はあるのでしょうか。まだ先の話ならトイレは綺麗にしてほしい。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。 本課である家庭・地域学びの課へ要望があったことを伝えます。
事務連絡	報酬の件 秋のスポーツ祭、二十歳を祝う会など、行事の案内の件

6 閉 会(3時45分)